

令和6年度
学校だより No.6

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和6年10月7日(月)
校長 宮坂 哲生

次第に暑さも和らぎ、秋の気配を感じるようになりました。年度後半も職員が一つになって、一人ひとりの成長を支えていきたいと思えます。



よさとがんばりが詰まった運動会

保護者・地域の皆様の温かなまなざしや拍手が、子ども達の背中をそっと押してくれました。保護者の皆様には、PTA作業での校庭の整備、日々の健康管理、会場づくりや片付けなど、大変お世話になりました。そのおかげで、子ども達のよさとがんばりがぎゅっと詰まった運動会となりました。本当に、ありがとうございました。



運動会に向けた日々の取り組みには、たくさんの学びがちりばめられていました。運動会の裏側。運動会3週間前の、ある一日を紹介します。

○体育館では、5・6年生が表現の学習を行っていました。曲にあわせ、自分の感情を、思いを、いかに体全体を使って表現していくか、一人ひとり追究していることが伝わってきました。運動の得意不得意は関係なく、みんなが体を動かすことに夢中になっていました。心が解放されているからこそできることだと感じました。



○ミーティングルームでは、4年生の子ども達が友達と相談しながら、どんな振り付けにしようか考えていました。担任が教えるのではなく、担任も一緒に踊りながら考えていました。だからこそ子ども達は主体的に取り組み、たくさんのことを学んでいました。



○3年生の教室では、子ども達が縄文の服の模様を考えていました。デザイン的な面白さだけでなく、自分の生活とつなげて、その模様一つ一つに自分の願いを込めていました。子ども達は、服だけでなくハチマキやベルトのことも考えていました。やってみたいことを、どんどん見つけていました。

学校では、様々な行事を行います。やり切った満足感や友達と心を合わせる心地よさ、楽しさと共に、子ども達の確かな成長の機会としていければと思います。

相手意識を発揮する姿

児童会で、全校遊びを企画してくれました。どうしたら全校の人が楽しんでくれるかを考え、6年生の子ども達が全校のみんなをまとめてくれました。その結果、全校が一体となって楽しい時間を過ごすことができました。予想以上の数の子ども達が集まり、急遽会場が校庭に変更になることもありました。全校のために活動する6年生の姿は、下の学年の子のめざすところとなっています。



2年生の子ども達は、年長さんとの交流会の計画を、自分たちで考えました。年長さんの姿を思い浮かべ、どんな遊びなら喜んでくれるかを考え、遊びの内容やルールを自分たちで相談して決めました。その結果、年長さんみんなが活動を笑顔で楽しんでいました。2年生は一緒に楽しみながらも、年長さんを気遣うことを忘れていませんでした。



相手を思って行動する気持ちは、相手に伝わります。お兄さんお姉さんに優しくしてもらった子どもは、下の学年の子どもにも優しくできます。そうした優しさが受け継がれていけばと思います。

食を育む

9月26日に、5年生が稲刈りを行いました。全て手作業でしたが、5年生が力を合わせたことで、作業はとてもはかどりました。多くの保護者の皆様にもお手伝いいただき、大変にありがとうございました。これまで5年生は、水の管理など、日々、稲の成長を見守っていました。そのため立派なもち米がとれました。食を育む苦労や楽しさを学んでいる子ども達です。



北山のよさを知る

2年生の子ども達が、白樺湖方面にバス遠足に出かけました。多くの方々に大変お世話になり、2年生の子ども達も挨拶やお礼がしっかり返せていました。北山のよさを知る、充実した1日になったと思います。



学校行事の旅行は、子ども達の楽しみであり、視野を広げる機会です。10月8日に4年生は長野見学に出かけます。10月23, 24日に、6年生は東京方面に修学旅行に出かけます。友達と一緒に、自分たちの住む北山を見返す機会にもなればと思います。準備等、保護者の皆様には大変お世話になりますが、どうかよろしくお願いします。